

## SUN たなと。

地域を、人を、想い合える  
そんな高平だから大切にしたい  
人と人とのつながり

高平<sup>と</sup>づくり協議会  
交流・生涯学習部会長  
小谷 啓子<sup>さん</sup>  
Keiko Kotani<sup>小柿</sup>



ラジオ・ハニー FM でもっと詳しく聴けます! 【4/19 15時10分〜】

「地域を、人を、想い合える仲間  
の存在が私の宝物です」地域で活  
動する喜びを話すのは小谷啓子さ  
ん。高平地区の小柿には40年前、  
結婚を機に夫の両親らと同居し始  
めた。近くに知り合いや友人がお  
らず、地域との交流はほとんどな  
かった。ターニングポイントはず  
どもが小学校へ入学した時。何と  
なく引き受けたPTA役員だった  
が、地域の中に顔の見える関係が  
一気に広がった。「あの時が地域の  
皆さんとの交流の原点かな」今の  
活動があるのも、その出会いがあっ  
たからこそと振り返る。

平成27年6月の立ち上げから関  
わる「高平郷づくり協議会」では、  
「歌声喫茶」や「アマゴつかみ取り  
体験」など交流イベントを企画・  
開催。また、高平の魅力が詰まっ  
た「高平ふるさとマップ」や「高平  
ふれあいの郷カレンダー」の制作に  
も携わってきた。コロナ禍前、中  
でも大人気だったのは「歌声喫茶」。  
毎回新たに選曲する歌謡曲や唱歌  
をピアノの生伴奏に合わせ、手作  
りの歌本を手にみんなと一緒に歌  
う。会場にはいつもあふれ返るほ  
どの参加者。地域の人の笑顔を見  
れることが何よりの喜びだった。

しかし、ここ2年は集まって歌  
うことができない。「やめてしま  
うのは簡単。こんな状況でも何か  
できることはないか」日々考えた。  
「ぬり絵だったらコロナ禍でも安心

してできるのでは」新しい企画を練  
る時、まず頭に浮かべるのは地域の  
人の顔。思いつくまま、歌声喫茶で  
歌本を制作してくれている武比古  
さんに「ぬり絵サロンをしたいので  
自作の紙芝居を使わせてほしい」と  
相談したところ、快諾してもらった。

「高平の魅力は、地域を想う人  
がたくさんいること」と誇らしげ  
な小谷さん。一人ではできないこ  
とも、「地域や人が元気になるた  
めなら」と誰もが協力を借しま  
ないからだ。「高平の多彩な人材  
をつなぐことが私の役割かな」み  
んなが自分らしく暮らし、人と人  
とのつながりを大切にできる――  
これからもそんな高平であってほ  
しいと小谷さんは願う。



■歌本の制作やカイ  
レンダーの担当  
ラスト描画をこ  
まえがわした武比古  
前川武比古さん